

開村100周年記念事業検討委員
(敬省略)

役職	氏名	住所
委員長	堂前和彦	松岡
副委員長	真鍋修詩	北町
委員	荒井裕子	川西
〃	佐藤伸二	北町
〃	高橋政利	三笠
〃	藤田幹子	南町
〃	村岡敏一	三和
〃	和久誉	北原



〃開村100周年記念事業〃
再検討がスタート

大正四年（一九一五年）四月一日に「和寒村」が誕生し、先人のご苦労によって自治体としての「わっさむ」が築かれてから、平成二十七年四月で百年を迎えます。これまで「分村百年記念事業」として、事業内容の検討をしてきましたが、名称や事業規模など、あらためて検討することとしていました。

七月二十二日に「開村百周年記念事業検討委員会」が発足し、各分野・年代から選ばれた委員八名に委嘱状が交付され、委員長に堂前和彦さん、副委員長に真鍋修詩さんが就任しました。

奥山町長から「この度、一旦立ち止まり、事業内容を見直す必要があるだろうと考え、改めて検討委員会を立ち上げさせていただいた。委員の皆様には忌憚のないご意見をいただき、事業内容を決めていきたい。また、これまでの検討委員会でのご意見は、十分に参考とさせていただきます、内容によっては記念事業と切り離し、行政課題として受け止めていきたい。」とあいさつしました。

第一回目の検討委員会では、名称を「開村100周年記念事業」とすることを確認いただき、これまで検討されてきた事業内容を踏まえた町の考え方、事業計画の構成と事業内容の概要（下表参照）、スケジュールについて説明を

受け、議論をスタートさせました。八月二十二日に第二回検討委員会が開催され、今後も事業内容について検討を重ね、町として、十一月に事業計画を固めることとしています。



■記念セレモニー
記念事業の中心的な行事として、開村100周年を祝い、交流となる記念セレモニーを開催する。

■記念イベント
記念植樹
子どもからお年寄りまで多くの町民が参加できるよう町民植樹祭を拡大し、記念の植樹をおこなう。

記念品配布
記念品を作成し、全世帯や冠事業などの参加者に配布する。

■冠事業
冠名称をもちい、開村100周年を盛り上げるため、四大イベントや町民運動会などに支援をおこなう。

■交流事業
母村「剣淵」との絆を育む交流事業として、スポーツや芸術文化の交流、教育の提携、公共施設の利用促進など100周年を機に相互の交流をさらに深める機会を設ける。